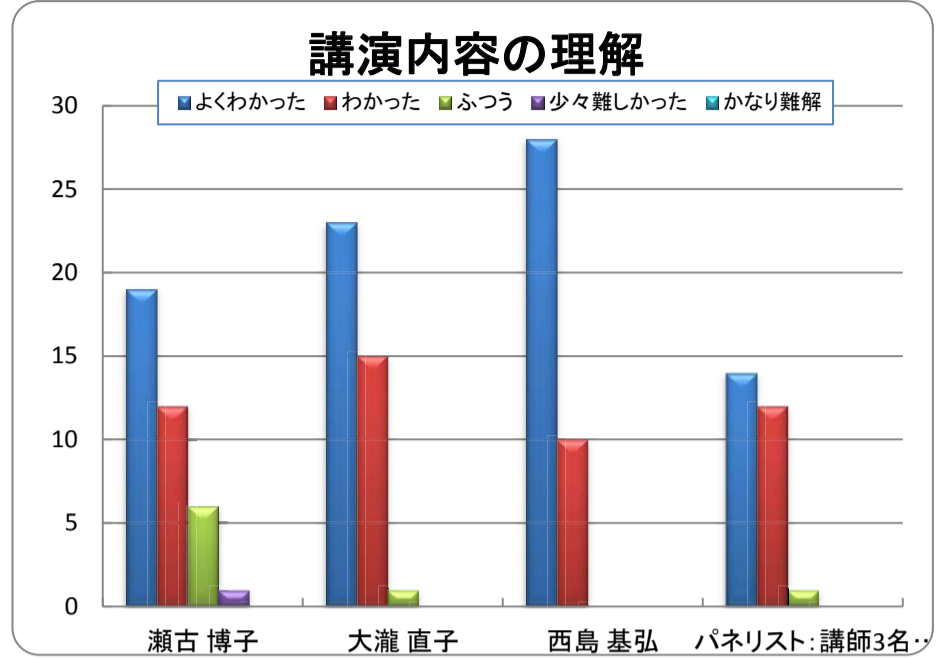
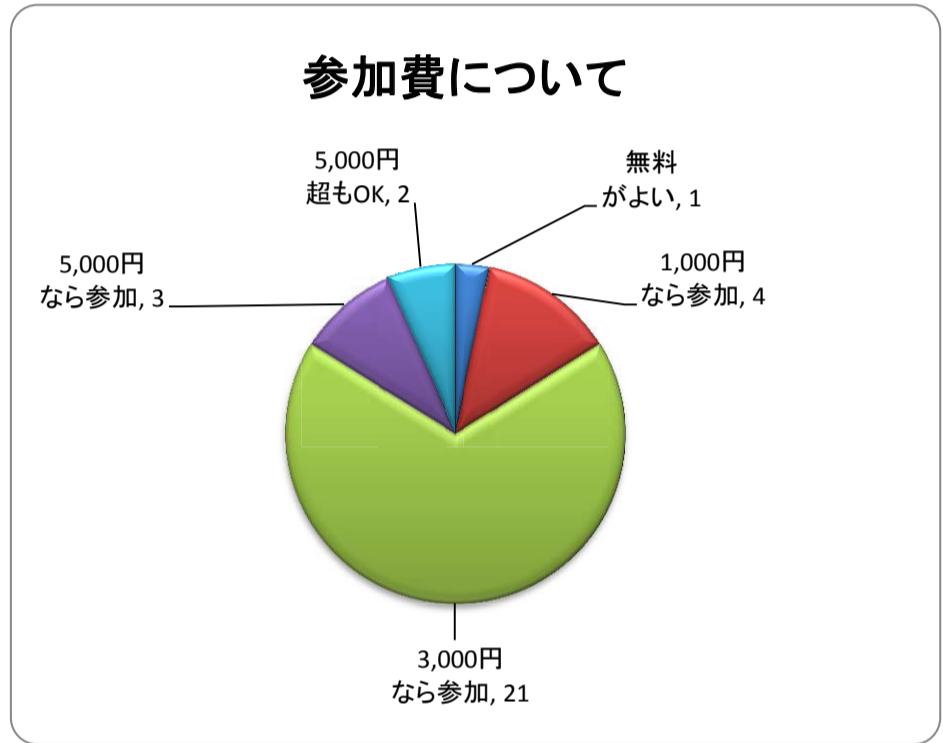




No.	テーマ	講師	よくわかった	わかった	ふつう	少々難しかった	かなり難解
1	やってみよう! 食品添加物のリスクコミュニケーション	瀬古 博子	19	12	6	1	0
2	消費者における 食品添加物リスクの 捉え方	大瀧 直子	23	15	1	0	0
3	なぜ不安を煽るのか、 その原因を 知ってから対応を考え よう!	西島 基弘	28	10	0	0	0
4	パネル・ディスカッション: 『食品添加物のリスクの あり方～不安を煽る フェイクニュースにどう対 抗するか』	パネリスト: 講 師3名 進行: 山崎	14	12	1	0	0

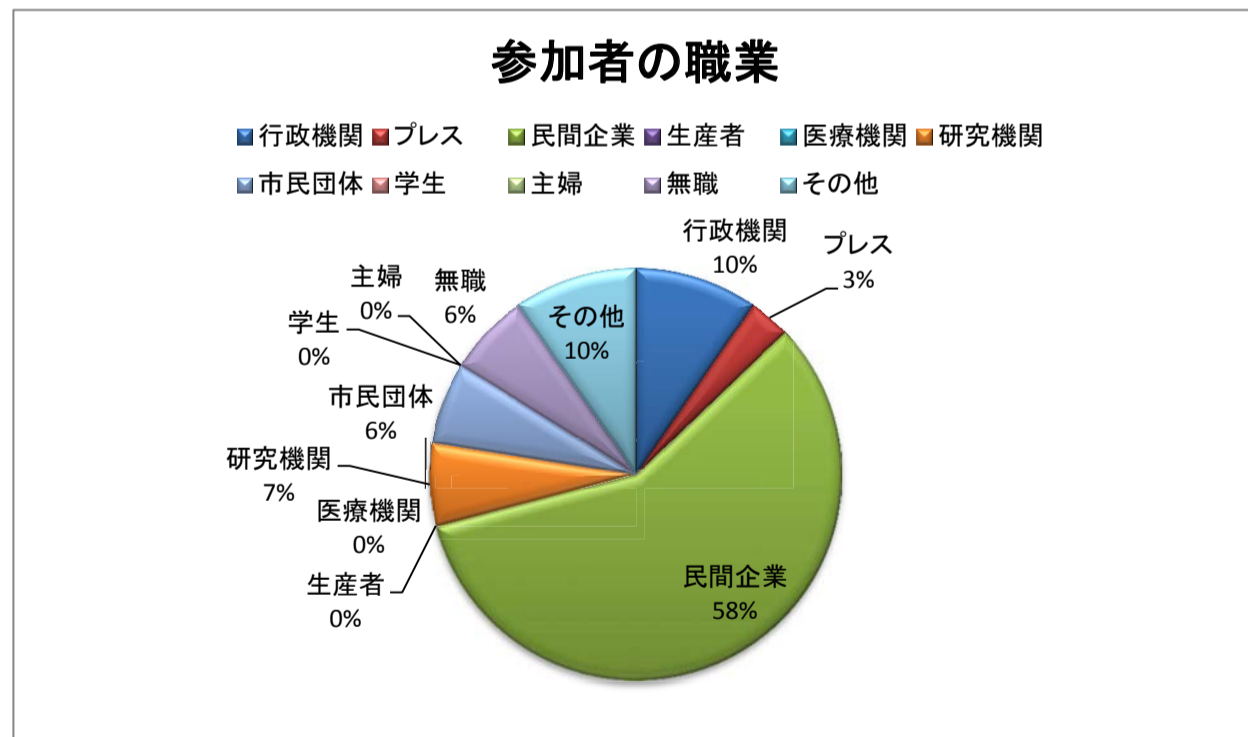


	無料がよい	1,000円 なら参加	3,000円 なら参加	5,000円 なら参加	5,000円 超もOK
今回のフォーラムの参加費(NPOへの 賛助)についてどう思われます か?	1	4	21	3	2
今回のフォーラムについて、率直に 思われたことを何でもお教えくだ さい。	(別紙)				
今後、食の安全・安心の分野で、ど のようなテーマのシンポジウムを希 望されますか?	(別紙)				
食品添加物のリスクのあり方～不 安を煽るフェイクニュースにどう対 抗するか、についてご意見くださ い。	(別紙)				
当NPOから季刊誌を発行しておりま すが、無料購読を希望される方は あて先(郵便番号・住所・氏名・所 属機関等)をご記入ください。	(別紙)				
当NPOからメルマガ(ご案内メール) を不定期に発行しております。無料 購読を希望の方はメールアドレスを ご記入ください。	(別紙)				



職業

行政機関	3
プレス	1
民間企業	18
生産者	0
医療機関	0
研究機関	2
市民団体	2
学生	0
主婦	0
無職	2
その他	3



1	やってみよう！ 食品添加物のリスクコミュニケーション	瀬古 博子
2	企業がフェイクニュースを受け入れる土壌を作っていることを自覚すべき。	
3	間接的な顧客との関係があるので、なかなか進みにくい案件です。	
5	もう少し具体的活動があればと思いました。	
9	主体者別に求めるテーマがわかりやすかったです。	
11	やや難解な説明があった。	
15	リスコミのポイントがよくわかりました。ありがとうございました。	
17	リスコミの課題、「特に何が問題となるか」ピンポイントでつかむことができた。	
18	はば広いお話が聞けました。	
19	現場で得られた情報等からの話であり、参考となった。	
20	なるほどです。食品添加物をとりまく状況を分かりやすく整理して頂きました。	
23	FOOCOMが、もっとメディア等に出てほしいと思いました。	
26	毎週のメルマガを楽しみにしていますし、ほぼ毎日更新のHP情報リンクも助かっています。現状の添加物の状況について、広く理解することができました。”リスクコミュニケーション”という言葉が、消費者の理解をすすめるのに、”リスク”ということでハードルが上がるのかなと思いました。でもリスクも扱う大切さ(納得しやすい)もわかりました。	
29	コミュニケーションの具体例が知りたかった。	
30	関係者の役割に着目したリスクコミュニケーションを提示していた。	
31	メディアは「食品が安心なもの」という認知(まちがい)に基づいて戦略を立てている。消費者リテラシー向上がカギだと思います。	
34	今後も情報発信を宜しくお願いします。	
39	民間企業として安全性を強く説明すると、利益の為と反感を買うリスクが高く、対応が難しいと思います。	

2	消費者における 食品添加物リスクの捉え方	大瀧 直子
2	科学+α の話を大変興味深うかがいました。	
3	わかりやすい説明でした。 流通業界への説明を促進いただきたい。	
4	実際のリスクコミュニケーターの大変さを感じました。	
5	ストーリー性(戦略)を持って、コミュニケーションをされるということに感銘しました。(行動力にも)	
9	どのように説明したら理解してもらえるかについて、とても具体的で説得力がありました。	
11	面白い内容の説明だった。	
15	実践的なお話で、どのような順序で話せばよいのか、よくわかりました。講義の参考にします。	
17	リスク比較表は参考になった。マスコミへの勉強会はもっとやってほしい。	
18	分かりやすかったです。	
19	ご苦労が良く分かりました。活躍を期待します。	
20	消費者向けのスライドがよかったです。主婦目線のリスクコミュニケーターは良い。苦労話などもう少し紹介してほしい。(話しにくいかもしれませんが)	
23	消費者目線の考え方、とらえ方が参考になった。	
26	食品添加物が良いもの(危険ではない)と、伝えようという姿勢に頭が下がります。お話を伺いながら、いっそのこと食添が嫌なら、その利益を受けられない(=損する)でいいのかなと思いました。誰ひとり取り残さない(SDGs)は別として、他人の利益になることに反対するのは止めてほしいものです。	
27	消費者との対話が成り立たないことが多いのですが、目線を同じにすることの重要性がよく理解できました。	
29	面白かったです。トランス脂肪酸の例、まさに人と人のコミュニケーションです。	
30	実践された経験に基づくリスクコミュニケーションの内容を具体的に示しつつ、分かりやすく、あり方まで含めて話された。	
31	リスク・ベネフィットは大事ですね。量は絵でみせると良いかも。欧州の昔の生ハム中毒の話も良いかも。	
33	一般消費者様への対応(客相などでの)について、大いに参考になりました。	
34	現場で直接コミュニケーションを取られる方の講演は興味深かった。	
35	ご苦労たいへんですネ。ありがとうございます。	
36	草の根的な活動をされていることに感心いたしました。	
39	地道なリスクコミュニケーション活動を学ぶことが出来ました。	

3	なぜ不安を煽るのか、その原因を知ってから対応を考えよう！	西島 基弘
2	スッキリしました。	
3	ユーモアある講義内容で聞き入った。	
4	添加物の色々なお話を聞いて良かったです。本質「何が大事か」の話は、今日の話の中で「ピカー」でした。	
5	物質に関するお話がわかりやすかったです。企業も担当(人=消費者感覚)で動くということか、と思いました。	
8	積年の疑問が解けました。文科省の壁は厚く高いですね。	
9	スッキリ・ハッキリ、いつもの西島節を堪能いたしました。	
11	大変、理解しやすい説得性のあるレクチャーだった。素晴らしい内容の講演だった。	
15	実態に基づくお話をありがとうございました。教科書の記載は早急に改めてもらいたと思います。	
17	添加物の実態(認識)がよく分かった。	
18	楽しいお話でした。	
19	極めて率直な意見で、実態を捉えており、リスコミの手法の改善に有益な視点であると思いました。	
20	スッキリしました。(AF-2のお話など)ありがとうございます。	
23	学校教育の重要性がよくわかった。	
26	自分の食添に対する抵抗感は、家庭科の影響なのかな?と思いました。(紫色のしば漬けを見せられて、とんでもない!!と先生がキーキー言ったのが印象的でした)子供の保育園の説明会で”うちは無添加だし、生協だから安心なんです”という説明に、つい言い返しそうになったことを思い出しました。でもそこで安全性について言い出して、入園させてもらえないと困るので、素晴らしいですねとコメントしてしまいました。	
29	専門家の視点よくわかりました。1点、気になってしまったのが、学生を「お嬢さん」とお話しされるのは…消費者への目線なのでしょうか。	
30	歯切れのよい解説であった。	
31	リスク・ベネフィットの話をする前後のアンケートなら面白いかも。「食のリスク」が大事ですね。フードファイターを認証化して、だまらせるのは?⇒孤立化作戦	
34	官公庁(特に文科省、厚労省)の行動が今一つというのはその通り、今回は義務教育の関係者をご招待を!	
35	長年の検査の蓄積から具体的に事実にもとづいた話で、とてもおもしろかった。	
39	学校教育のポイントという点を再認識しました。	
40	AF-2に関して、お話してくださり、やっとどういう経緯か分かりました。ありがとうございます。家庭科の教科書が盛りだくさんなのは確かですが、全部覚えさせるのではなく、読む気持ちになった人にわかるようにということを書いてある面もあるでしょう。家庭科の時間が少ないので指導要領通りには、実際にはできません。	

4	パネル・ディスカッション:『食品添加物のリスコミのあり方～不安を煽るフェイクニュースにどう対抗するか』	パネリスト:講師3名 進行:山崎
11	タイミングの良い進行での発言だった。改めて聞いた内容が多く、大変参考になった。	
15	管理栄養士の役割の大切さをあらためて感じました。	
18	とても有用でした。	
20	いつもそうですが、今日は特にフランクでよかった。演者の構成もベストかと。	
22	活発な議論に大いに啓発されました。	
23	幅広い意見が聞いて良かった。	
31	相互反応の話は面白かった。「食のリスク」が大事ですね。SNSは大事!! 早さ(国際競争もある)も勝負で、アジャイル>ウォーターフォール なので。もちろんウォーターフォールも大事。	
34	会場の方に積極的に質問されても、色々な経験が聞いて面白かったのでは?	
38	ウェブマガジンの情報は参考になりました。	
39	民間として何を取り組むか考えさせられる課題と思います。	
40	添加物は反応性が低いことも確かめられているという西島先生のお話は、今までほとんどお覚えていなかったもので、助かりました。	

5	今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。
1	専門家を含め、自分の常識をうたがう事が大切だと再確認しました。
2	同じ土俵に立つことの大切さを学びました。
3	・ビジネススペースにある為、行政で制御しないと、草の根活動では困難。 ・表現・表示については、食品表示法・景表法でしっかりコントロールしてほしい。
4	3名の講師の方が、各々で考え方にも興味を持ってました。
6	このイベントが、新聞やテレビで報道されて、拡がっていけばと思います。
8	西島先生の講演で、今までの疑問が氷解しました。
9	大変役立ちました。
12	食品安全は科学、伝える側の誠実性・専門性、販売者側がきちんと学習して伝える義務・重要性があることを学びました。
13	正しい情報が伝わってなく、悪いイメージが先行していることが良く理解できました。まずは正確な情報を複数得て、自分の見解をしっかりと持ち、わかり易く伝える努力が不可欠だと感じました。
15	どの講演もよくまとまり、ポイントがわかりやすい内容で、自身の講義の参考にもなりました。ありがとうございました。
17	・積極的にリスコミ参加する方は、理解される方が多い。 ・少し前に妊婦さん向けに、この手の話をすると「時間の無駄」といわれ苦情となったことがある。消費者の方が、よほど問題が大きいと感じている。ここを改善させる必要がある。
18	アンチ食添の人はいたのかな？
23	消費者団体の意見も聞いてみたい。
25	リスクコミュニケーションの難しさを改めて認識しました。
26	食品添加物については、安全だと理解していますし、尋ねられればADIも含めて、その安全性について説明できるけれども、漠然と避けた方が良いのでは？という心の問題を解決できずにいます。本日の講演を伺い、安全性に対してではなく、“ごまかされないようにしたい”という気持ちなのかなと思いました。一般的に添加物というと安全性がセットで話されますが、必要以上に色を良く見せたり、古いものが新しく見えたりという点での、だまされている感も大きいのかと思いました。(私だけ?)ただ、もちろん色やドリップが出ないなど、フードロス対策として重要な技術ということも知っているのですが、ifiaでこんなことまでできるのか・・と驚きと同時に受け入れ難い気持ちを持ったのも事実です。大変恥ずかしいのですが、心の問題は難しいです。食品添加物の表示で、物質名まで表示して欲しいという消費者は、どれだけ物質名に精通しているのか、いつも疑問に思っていたのですが、教育指導で高校生にあれだけのことを要求しているのだから、一般消費者は物質名で用途や安全性がわかるのかなと思いました。
28	今回の講師の選択は大変良かった、(特色のある分野の人)
29	フロアの(企業の)方たちの声をもっと知りたい。ディスカッションの時間を長く作ってほしい。
30	企業サイドの取組に関する情報提供が欲しいと感じた。
31	「食にはリスク」のリテラシーを消費者に!! 「無添加」コンセプトは、みんなのリスク。
32	実践に裏付けられたリスコミのやり方を聞いて、わかりやすかった。
34	フェイク(ニュース)の発信者もご招待しては。
35	おもしろかった。リスクコミュニケーションはとても大切なしごとであり、リスクコミュニケーターは、そろそろ有償できちんとやるべきと思った。
38	たくさんの課題があげられましたが、その中にヒントがたくさんあると思いました。学校教育は重要ですね。若い人と話していると、そう思います。家庭科ではなく、生物で勉強するということもあっていいと思いました。
39	民間企業では大手流通の影響が大きく、消費者もそちらになびくので、大変難しいテーマであったと思います。
40	家庭科に関しては、学習指導要領が10年毎に改訂され、来年度は小学校で全面実施され、再来年は中学、その次に高校で実施されます。その新学習要領の解説が科学的になったので、それに基づいた教科書となるはずですが、ただし、家庭科の時間数が非常に少なく、中学1・2年は週1時間、3年は週0.5時間しかありません。食以外の衣と住・保育・消費者教育(環境も含めて)等も教えなくてはならず、食ばかりに時間をかけられません。

6	今後、食の安全・安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか？
2	ゲノム編集食品の受け入れ方？
3	・食品に関する表現について ・機能性についてとか
14	健康情報番組などで人気の「〇〇は高血圧・糖尿病・がんの予防などに良い」といったテーマで紹介され話題になる”食品や食べ物、食べ方”(例:低糖質ならカロリー(脂質)に全く気にしなくていいなど)対象と目的を誤ると危険な場合も多いと思います。(ダイエット効果については、エビデンスはあっても極端な食事制限や偏った内容、特殊な食べ方をすすめるのは、人によって危険になることもあるので)
15	無添加を標ぼうしている企業や教科書や指導要領をつくっている方々のお話も伺ってみたいです。
18	健康食品は有用？ミスリード？
22	「超加工食品」日本では一段落しましたが、海外ではくすぶっているとも聞いています。
23	ゲノム編集について
25	リスクマネジメント(行政の規制と企業の管理)のところを消費者とコミュニケーションする方法について
31	情報の発信方法のあるべき姿
34	食がグローバル化する中、世界の食の安全安心について(全体像)
35	ゲノム編集
38	ゲノム編集(品種改良) 食品そのもののリスクも、しっかりと勉強してみたいです。

7	食品添加物のリスクのあり方～不安を煽るフェイクニュースにどう対抗するか、についてご意見ください。
2	学校教育のあり方について、根本的な対応はないのでしょうか？
3	貴会のような第三者が科学的根拠に基づいて発信されることを期待します。
4	一企業での対応はかなり難しいと考えていました。
15	食品産業全体として、きちんとした取組みが必要と、あらためて思いました。
17	ネットを見ている方であればまだよいが、新聞・TV局に対しての発信強化も必要と思われる。
18	発信側に回る人が多くなるべきですね。
25	オープンなフォーラム作り、議論の内容に透明性を保つようにする。
27	今日の話の中にもありましたが、学校で正しいことを最初に教えることがフェイクニュースに対抗することになるのではないのでしょうか。
28	添加物で優良確信している団体の人達が一般消費者にフェイクする事を抑制する事を考えるべき。消費者へのコミュニケーションでは限界がある。
31	アジャイル(SNS発信でいろいろ) & ウォーターフォール(オーソリティがデータベースとSNS火元の「トラの巻」)、QRコード利用で安全を!!
34	教諭、栄養士等、身近な方にアンチ食品添加物の方が多くのように思います。まず彼ら、彼女らの教育を！
35	学校教育・教科書における食のリスク教育の改善、消費者のリスクコミュニケーションの拡大も大切だが、フェイクニュースはSFSSの実施したような公開質問書提出、事実と事実でないものの公開は効果があると思います。
37	正しい情報、解説記事をwikipediaに載せる。
38	小さい単位でのリスクを何度もくり返すこと。15～20名はいちばんいいと思います。「レベル4」をSNSで広めるというのは有効かも。